

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公開番号】特開2010-64437(P2010-64437A)

【公開日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-012

【出願番号】特願2008-235007(P2008-235007)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 29/42 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 29/42 F

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月24日(2011.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも一つの面に開口が形成された筐体と、

前記筐体内に設けられ、メディアに画像形成を行なうプリント部と、

前記筐体の前記開口が形成された面に取り付けられ、プリントに関する情報を表示する表示パネルが設けられたディスプレイ部と、を有し、

前記ディスプレイ部は、前記筐体に対してスライド移動自在であって、前記開口を覆う第 1 状態と前記開口を露出させる第 2 状態にすることが可能であり、前記第 2 状態では、ユーザーが前記開口から前記筐体内の前記プリント部の少なくとも一部にアクセスが可能となり、且つ、

前記ディスプレイ部は前記開口よりも大きなサイズを有するとともに、前記第 1 状態では前記ディスプレイ部は前記開口をすべて覆うことを特徴とするプリンタ。

【請求項 2】

前記第 2 状態では、前記ディスプレイ部に前記プリント部のメンテナンスに関する情報を表示することを特徴とする、請求項 1 記載のプリンタ。

【請求項 3】

前記ディスプレイ部は、前記筐体の開口が形成された面に平行に、横方向または縦方向にスライド移動自在であることを特徴とする、請求項 1 又は 2 記載のプリンタ。

【請求項 4】

前記筐体は設置した際に縦長形状であり、前記ディスプレイ部は前記筐体の前面に取り付けられ、前記ディスプレイ部と略平行に、前記筐体の内部で複数枚のメディアが縦方向に収納されることを特徴とする、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のプリンタ。

【請求項 5】

前記プリント部は、メディアを搬送する機構、シートに画像形成を行なう機構、インクを収容するインクタンクを保持する機構を有し、ユーザーは前記開口から、前記インクタンクの交換、メディアのジャム処理の少なくとも一方が可能であることを特徴とする、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のプリンタ。

【請求項 6】

前記プリント部は、インクジェット方式の記録ヘッドを保持して往復移動させるキャリアッジ部を有することを特徴とする、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のプリンタ。

【請求項 7】

プリントする画像を供給するメモリカードを装着するスロットを、前記筐体の前記ディスプレイ部を取り付けた面とは異なる面に設けたことを特徴とする、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のプリンタ。

【請求項 8】

前記表示パネルは前記開口よりも大きなサイズを有することを特徴とする、請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載のプリンタ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記課題を解決する本発明のプリンタは、少なくとも一つの面に開口が形成された筐体と、前記筐体内に設けられ、メディアに画像形成を行なうプリント部と、前記筐体の前記開口が形成された面に取り付けられ、プリントに関する情報を表示する表示パネルが設けられたディスプレイ部とを有し、前記ディスプレイ部は、前記筐体に対してスライド移動自在であって、前記開口を覆う第 1 状態と前記開口を露出させる第 2 状態にすることが可能であり、前記第 2 状態では、ユーザーが前記開口から前記筐体内の前記プリント部の少なくとも一部にアクセスが可能となり、且つ、前記ディスプレイ部は前記開口よりも大きなサイズを有するとともに、前記第 1 状態では前記ディスプレイ部は前記開口をすべて覆うことを特徴とするものである。